

ようこそ 和歌山へ

!!

2日間、語り合いませんか？

和歌山・白浜のつどい以来
2年がりのつどいです

みんながつどえる、集まって
話ができること、ほんとうにうれしく
思い、準備してきました。

少しでも「もっとできる空間をつくれたら、
参加された皆さんに少しでも何かの
「実り」をお持ち帰りいただけたら」と思い
心をつくってきました。

自分だけじゃないって思えたら---と。

和歌山は海あり、山あり おいしいものもたくさんあります
ゆっくりして帰して下さい！



ヤマガラス

困ったときは

みかん色の
リボンをつけた
スタッフへ



おやすみどろ

疲れたときはどうぞ
ちよとほっとできる
スペースです

5階にあります

つどい本部は
県文4階の404号室です。

救護
き必要とする方は
即 スタッフへ

総合案内は

受付の左はしにいます。

おべんとう忘れた〜！
どの分科会がいいかは……
そふんでもどうぞ

ひろばには

当事者・青年が参加できます
お子さんも参加できます。
その場合保護者の方が、
スタッフと顔合わせして
下さい。(ウラ面参照)。

報道の方は必ず本部へおこし
下さい。

お願い！

写真・録音は
NG

いろんな思いや事情を
かかえて来られる方もおられます

× SNSへの

画像投稿もふくめて、
絶対にしないで下さい

本部の記録写真係は腕章をつけ
うしろから押さえるようにしています。

速報は おしらせと交流
をします。

2025/全国のつどい速報

希望つむいで

1号



参加者のみなさんへ

ようこそおいでくださいました。実行委員会一同、心から歓迎申し上げます。

「全国のつどい」は「語りあおう 学びあおう 子どもたちをまん中に」を合言葉に開かれる交流と学びの場です。一人ひとりの思いを大切に、参加者みんなで、心にのこる「つどい」を作りあげていきましょう。実行委員会、事務局も一生懸命つとめます。至らないところもあると思いますが、どうぞご協力ください。

★参加者はみなさん対等・平等です

- ① 親も、当事者も、教職員も、研究者も・・・、参加者はみなさん対等・平等です。
- ② 名札（名前を書くシール）が資料袋に入っていますが、付ける、付けないは自由です。また、ニックネームなどでもOKです。「つどい」ではお互いの思いを尊重しあいます。
名前を言いたくない、話したくない場合は、聴いているだけでもいいです。
- ③ 「つどい」は、「交流と学びの場」ですから、何かを決めたりすることはしません。
- ④ 参加分科会の希望を変更しても差しつかえありません。どんな分科会か、内容がわかりにくい場合は、スタッフにおたずねください。分科会の参加人数が多い場合は、分散会に分かれる場合もありますが、どの分散会に入るかは自由です。

お子さまをお連れの方へ

小学生以上のお子さまは、「ひろば」などでおすごしいただくこともできます。

「ひろば」は、自由に気持ちよくすごしていただく場所です。「保育」ではありません（名簿はつくらず、出入り自由です）ので、保護者の方はお子さまと話し合いをしていただき、安全面については各自で配慮をお願いします。「ひろば」に参加される場合、保護者の方は一緒に行き、必ず担当者と顔を合わせてください。

その他

- ① スタッフは、ミカン色のリボンを付けております。お困りごと、ご相談は遠慮なくスタッフにお声をおかけください。
- ② 貴重品・荷物は各自で責任を持って管理をお願いします。
- ③ 救護室を用意しております。ご気分が悪くなった方は、本部・スタッフへご連絡ください。
- ④ 「つどい」開催に際して、2日間の行事保険に入っています。
- ⑤ 写真撮影（SNSへの画像の投稿を含む）、録音など、絶対にしないで下さい。
- ⑥ 開催中は、禁煙にご協力ください。喫煙の際は、指定場所をお願いします。
- ⑦ （公社）和歌山県観光連盟 MICE 参加者アンケート（任意）
このアンケートは匿名での回答であり、メールアドレスや電話番号の記入はございません。お手数ですが、今後の和歌山県の発展のためアンケートにご協力をお願いします。

◎参加者アンケート

https://www.wakayama-kanko.or.jp/forms/mice_participants/

※会場は他の団体等も利用されています。

つどい参加者だけが利用するものではありませんのでご留意をお願いします。



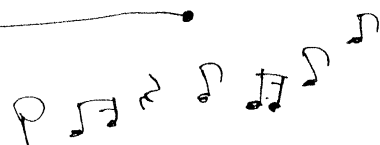
明るい歌声で オープニング



・ 団員の方から感想をいただきました

皆様のあたたかい雰囲気の中で
歌わせてもらったことを大変うれしく
思いました。皆様の心に少しでも
届くものがあったのなら幸いです。

アンサンブル・ミカニエ 団員



誰かにとどく

「心配ないからね
君の想いが 誰かにとどく明日が
きつとある……」 少人数なのに
力強い歌声を聞きながら涙が
出そうでした。とどくよね。
歌いに来て下さってありがとう
(下阪)

(ハーモニ)

知り合いが出演していてびっ
くりしました。私が好きな曲(ばい)
を心をつにしたいあばら(ハーモニ)
で聞かせていただき感動しました
(和歌山)

私も不登校の経験しましたが
いろいろな方との関わりで、今は
元気に歌っています。

こういう会があることは知ら
なかったのですが、こういう場で
歌わせてもらってうれしく思
っています。

アンサンブル・ミカニエ 団員
元 不登校生徒

やさしい気持ちに

この会のオープニングにふさわしい
穏やかでやさしい気持ちになれ
る合唱でした。「愛は勝つ」で
元気になれたように、この2日間
少しでも気持ちがラクになれる
ことを祈っています

(和歌山)

感想をお寄せ下さい
--- 速報係

<主催者あいさつ~登校拒否・不登校問題全国連絡会>

世話人代表 児玉 洋介

ようこそ和歌山の地へ。大変な状況の中で集まっていた。コロナ以降、つどいを聞くこと自身が大変な時代となり、また、親の会に参加することも難しい時代になっている。そんな中で「集って語りあうこと」の大切さを感じている。今、社会の分断が、戦争という分断によって進んでいる。そこで子どもが大きな犠牲をいられている。国内では、人が「能力」によって分断されるということが10数年続いている。今の子どもたちの悩みはこれらと切っても切り離せない。学校というシステムの中で分断されている。今は、大人が子どもたちの気持ちを聴きとれること、そのためには親もひとりひとりに会って、みんなであつなかりあえることが大切。悩みを率直に出し合い、協力しあえるつどいにしましょう。

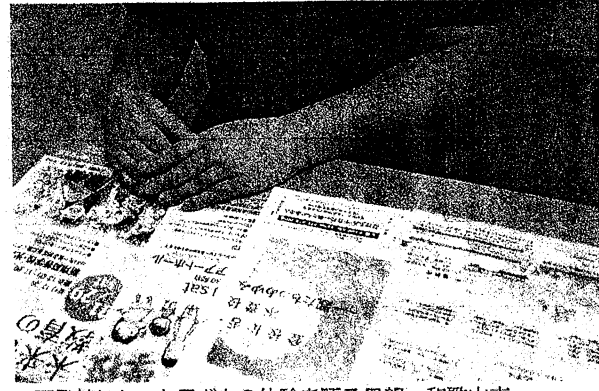
<来賓あいさつ~全日本教職員組合 教文局長 大島 和重>

8月の「教育のつどい」では、教職員だけではなく、各民主団体や地域からのレポートが持ち寄られ、大変ありがとくございました。昨年度の不登校の様子が少しずつ情報として寄せられているが、増えていたり高止まりの状況となっている。厚生労働省発表の子どもたちの自殺では、特に女子が増えていることが気がかり。中教審の議論では「個別最適化」の政策が進んでいる。登校拒否・不登校の問題は教育の原点につながる問題として、私もともに学びたいと思います。



分科会は
15:00 から です。

入学後に学校へ送っていくと、よく校門の前で泣いた。それでも嫌がりながら通った。3年生になった2020年、コロナ禍で休校になり、6月まで家で過ごした。その年の秋、地域の活動で約20名のサイクリングに参加した。疲れから体調を崩して1週間寝込



不登校になった子どもの体験を語る母親＝和歌山市

県内2945人 過去最多 23年度

文部科学省は、病気などを除いて年間30日以上欠席した児童・生徒を不登校と定義する。

県教育委員会によると、2023年度に県内の公立学校で不登校の児童・生徒数は、小・中学校、高校を合わせて2945人に上り、過去最多だった。前年度に比べて551人増えている。

内訳は、小学生917人(前年度比263人増)▽中学生1355人(同191人増)▽高校生673人(同97人増)だった。

親の会ではこうした経験も安心して共有できる。「何を話してもいいんだ。ここで出会った人たちは本当に大切な人。このつながりは宝物」親の会に支えられて、それでも心の中には

「登校拒否・不登校問題全国のつどいin和歌山」が県民文化会館(和歌山市)で25、26両日に開かれる。今回、初めて参加する不登校の子がいる親や、長年活動を続けてきた親に話を聴かせてもらいました。2回に分けて紹介します。(松永和彦)

不登校 語り合える場

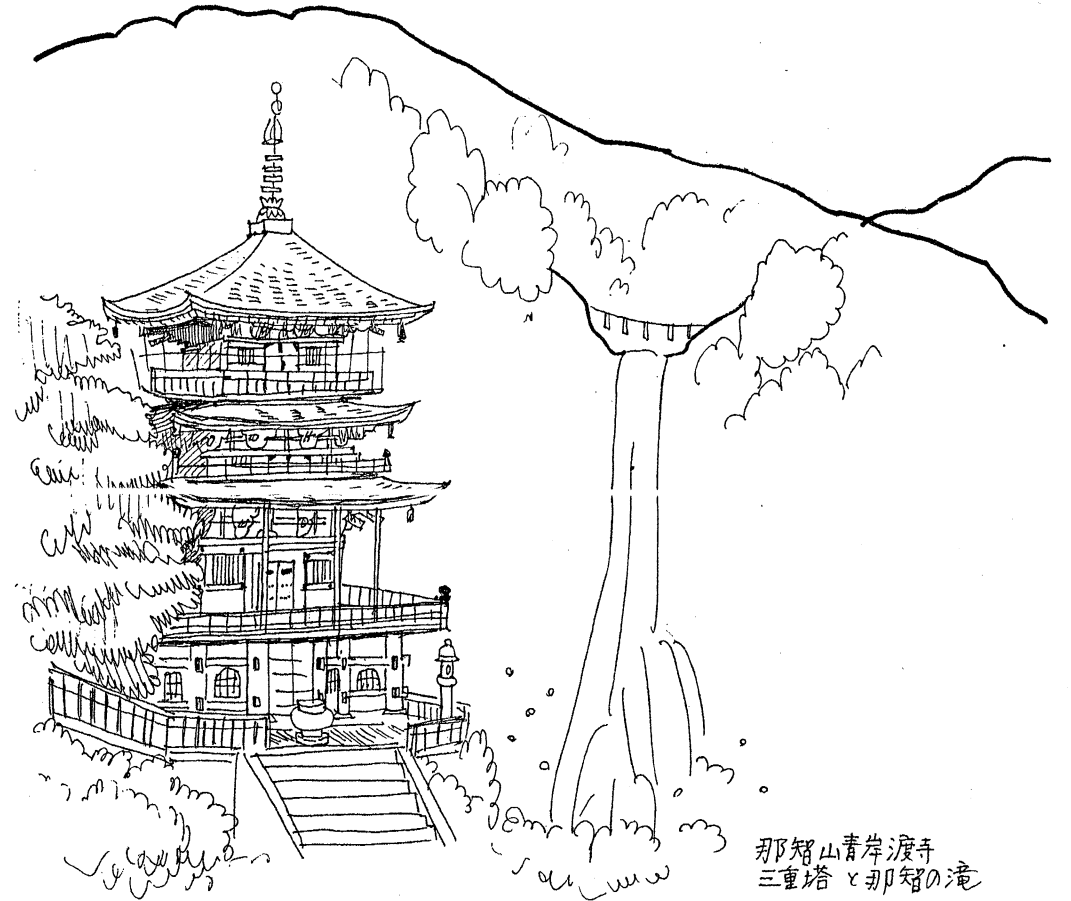
中学2年の長女が起床するのは午後、お昼を過ぎてから。学校には通えていない。幼い頃から保育所へ行く時にも嫌がって泣きわめくことがあった。小学校も入学前は「楽しみじゃない」と言った。重いランドセル、徒歩での通学、授業は退屈、そんな想像をしていたよう

40代の母はフルタイムで働き、帰宅後は両親の介護で忙しかった。長女のことではどうすればいいか、悩んでもがいていた。長女が小学3年の時に、知人を通じて不登校

親の悩み共有 心の支えに

でき、心の支えになっていく。気長に長女を待とうと中学入学前、長女は「中学になったら頑張ろう」と気持ちを切り替えようとした。2週間頑張ったが、その後登校できなくなった。最近、長女に言われた言葉が母の胸に刺さった。「私の順番はいつまで待ってもずっと回ってこなかった。おじいちゃんやおばあちゃん、そして弟の次だ」

長女と一緒に祖父母の介護や家事をしてくれた。忙しさから十分にかまっていられなかった。我慢させていたのかなと思う。親の会ではこうした経験も安心して共有できる。「何を話してもいいんだ。ここで出会った人たちは本当に大切な人。このつながりは宝物」親の会に支えられて、それでも心の中には



那智山青岸渡寺
三重塔と那智の滝

馬場久志さん 記念講演 感想から

とてもやさしい講演

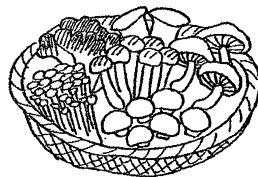
とても詳しくやさしい講演でした。馬場さんのやさしさは誰よりも子どもに注いで、そして親たちに注いでですが、その思いが教師たちや行政の人たちに対してさえ向けられていることに胸があつくなりました。すべての人を一人の人間として尊重するとはこういうことなのかと思いました。

学校をあきらめない

「学校をあきらめない」という思いを持っている」との馬場さんの言葉にいたく共感しています。(高校教員・埼玉)

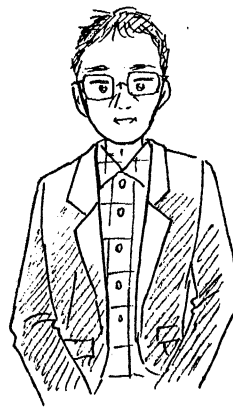
つらいのは子ども

不登校でいちばんつらいのは子どもだということをおぼろげに感じておられることに気がされました。最初のころは、原因を探して、子どもは「わからない」というばかり。それから少し経って、親の会に参加するようになり、少し気持ちが軽くなりました。(父 和歌山)



ヒトとして

経験者の親として、共感できるところが多々あり。とてもよく理解できました。大切なことは子どもも大人もヒトとして尊重されること。大事なひとを信じて、まかせて、待つこと。心に刻みたいです。(父 北海道)



「はがゆさ」先生

はがゆさ

信じて待つにつきの代償。ひきこもる子どもが心を開けないこと(はがゆさ)を感じる。どうすれば会話ができるのか。道をつけてはなぜいけないのか。毎日の悩みです。

(父 和歌山)

おわりに 記念講演の最後に話されたお話～

不登校になって一番苦しいのは子ども。

このことが、ふと心の底から感じられるまでに、保護者や教員など大人たちは長い紆余曲折をたどります。子どもは大人が考えるよりもずっと、親や先生を悲しませたくない、余計な心配をさせまいという気持ちをもちます。

だから、無理に登校させられても、学校では楽しそうな表情だったり、学校に行く約束をしてみたりします。そこに大人の思い違いが生じます。生活や登校の形を取り繕う大人の試みは、子どもの傷を深くしています。

無理して演じるほど、親や先生の期待に応えられない自分には価値がないと思わせてしまうのです。その抱え込んだつらさが、昼夜逆転の生活やゲームへの没頭や自室への閉じこもりになったりします。

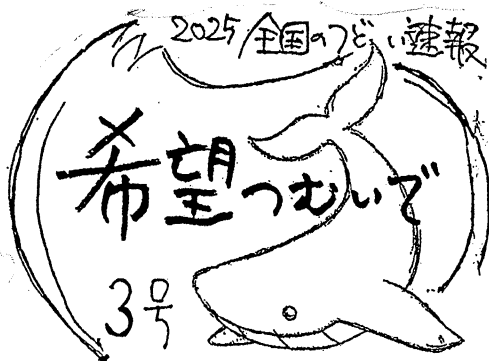
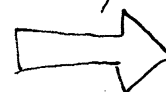
そのような中で、教員は親の接し方が悪いとか、保護者は先生が理解してくれないとか、互いに不信感をもってしまうこともあります。

これまで、不登校の子どもをもつ保護者たちは、そうして子どもを追い詰めてしまう失敗もしながら、不登校を何とかしようという大人の試みは、一番苦しんでいる子どもを抜きにした大人の都合だと気づく歩みをたどってきました。

大事なことは、寝ても覚めても悩み自分を見つめ続けている子どもを信じて、半歩後ろで寄り添うことだと。今やろうとしていることが、子どもたちの発するサインに本当に応えるのだろうか、立ち止まり肩の力を抜いて、もう一度子どもの声に耳を傾けてみるために、今日の話を思い出してください。

そうして、子どもたちが感じている思苦しさや、そりゃそうだよねと私たち大人社会の難しさと重ね写しになる頃には、子どもへのいとおしさが増してくるのではないかと思います。〈馬場 久志さん〉

講演の「おわりに」をぜひこの要望が多かったので載せます



書籍コーナーからお知らせ

これまでのつどいの講演録を全国連絡会で作成しています。1部300円で販売中



担当からの
おすすめ...



植田 健男さん講演録

①第9回(和歌山・白浜開催)

②第20回(愛知・犬山開催)

この2回の講演録を読むと
今の管理と競争の教育へと流れ
ていく動きがみえてきます。

※2冊とも残りわずか!!

※明日26日・小ホールロビー(9:00~15:00)

他にも... いろいろ...

・第2回 窪島 務さん
『登校拒否をどう受けとめたら
よいか』

・第6回 三上 満さん
『子どもたちの未来と生き方探し』

・第10回 旭瓜 あかねさん
『今日も悩みながら』

・第14回 庄井 良信さん
『揺れる子どもの心と聴く』
などなど

全国連絡会

編集の

書籍

ごあんたい

登校拒否・不登校- 親たちのあゆみ-

わが子へ不登校に悩んだ親たちの... 又、全国連
ごつらいた教員、支援者、当事者、研究者たちの
手記30編を25年に旦、発行された全国連ニ
-スから収録

ぜひ一読下さい

共感もらい 答えは自分で

不登校 語り合える場

現在65歳になる女性
は、30年近く前に長女と
長男が相次いで不登校を
経験した。

女性は2004年に県
内で初めて開かれた「第
9回登校拒否・不登校問
題全国をつどい」に参加
して以来、ほとんどの
「全国をつどい」に参加
を続けてきた。

38歳になる長女は、中
学1年の時に不登校にな
った。私立の広域通信制
高校で学び、推薦で大学
に進学。その後、就職し
た。

中学に進学してまもな
く、不登校や引きこもり
の子どもの通う和歌山市
内にあるNPO法人の支
援施設に通うように。そ
の後、定時制高校へ進学
したが単位が足りずに退
学。数年間は自宅にいた
が、自らの意志で大学を
目指して塾通いを始め
た。

しかし、5年ほど働い
てうつ病になり、退職を
余儀なくされた。
現在とはともに暮らして
いるが、最近では自分から
「おじさんの農業を手伝
う」と言うようになった。

37歳の長男は、小学4
年の時に同級生にからか
われたり、いじめられた
りして、不登校になっ
た。

だが、頑張っ合格し
た大学でもつらそうな様
子で、中退することにな
った。

教員に勧められて病院
を受診し、発達障害と診
断された。しばらくは家
で過ごし、数年前から軽
作業などをする就労支援
す。

施設に通うようになっ
た。

女性は「本人がやる気
にならないと動けないと
思う。子どもを信じるこ
とが一番いいのかな。そ
う自分に言い聞かせなが
ら生活しています」と話
す。

「第26回登校拒否・不
登校問題全国をつどい」
n和歌山」の実行委員会

「全国をつどい」に長
年参加して気づいたこと
がある。
「自分の体験を共感し
てもらうことで悩みを消
化していく。アドバイ
スをもろることが目的で
はなく、悩みの答えは
自分で探すしかないんだ
と思います」

「第26回登校拒否・不
登校問題全国をつどい」
n和歌山」の実行委員会

「第26回登校拒否・不
登校問題全国をつどい」
n和歌山」の実行委員会

「第26回登校拒否・不
登校問題全国をつどい」
n和歌山」の実行委員会

「第26回登校拒否・不
登校問題全国をつどい」
n和歌山」の実行委員会



過去に開催された全国をつど
いの様子。杉田美江さん提供

「全国をつどい」あすから

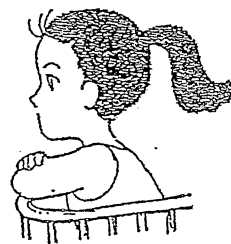
演として、日本薬科大の馬場久
志・特任教授が「立ち止まる子
どもたち」子どもたちにとって
本場に大切なこととは」と題
して話す。
26日は午前10時~午後3時に
基礎講座がある。両日とも12
1マにわかれて分科会がある。
当日参加が可能で、希望者は
直接会場へ。資料代として両日
で3500円、1日のみの参加
は2500円。学生割引もあ
る。18歳以下は無料。詳細は全
国連絡会のホームページ(htt
ps://tsudoi.zenkoken.jp/)
p/)。

おはようございます。つとい2日めです

今日からお越しの方は
ぜひ速報の第1号からお読み下さい



受付に並べてあります
本部・事務局からのお知らせを載せています



わがらよいことはみんな色リボンのスタッフにどうぞ!

1日め

分科会の感想

第1分科会「小学生」

緊張しました

いろいろな立場の方のお話が
聞けたとても勉強になりました
発言するときは緊張(まじが
自分の話も聞いてもらえて嬉
しかったです(父母・愛知)

いとおきなく

小学生の現状、学校教育のひ
どけが多く話された。
参加者全員がいとおきなく
話された様子が、いちばん
良かったです(父母・埼玉)

なんとあたたかく

私は初めての参加でしたが、想像
していた以上に、なんとあたたかく、
落ちついていて、穏やかな雰囲気
なのだろうと思う。一人ひとりの向きあ
い方、考え方に大変感銘を受けま
した。当時に感じていた自分の孤
独と少し重ねてみたり、振り返るこ
と、とてもすごく大切なことなのだろう
と思います。ぜひ、この「つとい」が
これから先も読んでいくといいな
と思います(学生・和歌山)

話をする

学校との関わりと保護者との関
わりに折り合いをつけることのむずか
しい現実の中で、やはり話をする
機会を大事にすることに尽きるの
かと思いました
(,)

一教員として

それぞれの立場のハナシ
専門家、研究者、親、教員
元教員、すこしく勉強になり
ました。

自分の経験以上の話に聞け
ました。学校の中の一教員として、
何ができるのか、できることを、小
さな一歩で良いので歩みたいと思
いました。(教職員・奈良)

雑談もOK

超多忙になっている学校なのでし
うが、その中でも話(合う)雑談
もOK)ことで、それぞれの悩みが
少しでも良い方向に向かえれば
よいと思いました(,)

第5分科会「学校づくり」

聴くこと

いろいろな立場の方のお話を聞
けたことば、とても良かったです。
一人の発言をみんなが一歩けんめい
に聴くことのつみ重ねが、とても
温かい時間でした。

子どもの心の痛みはどう寄りそうか
いつも考えて仕事をしていますが、
今日は保護者の痛みにも触れ、
学校はどうあるべきなのだろうと
考えつづけています

(父母・教職員・愛知)

生の声

保護者の方の生の声を聞いて
良かったです。(, 和歌山)



大交流会

北海道 (9名)

ここで久々に北海道メンバーに会えました。
次やりたいけど、だれも賛同してくれない...
初参加も何人かいます!

和歌山 (40名)

県民文化会館を予約でき、近畿のみなさんと一緒に力を合わせ、色々な奇跡が集まって今日この日を迎えることができました。
教職員組合の先生方にお世話になりました。学校現場は、あまり聞きたくないようなこともあるけど、地域や保護者の方と助け合っていきたい。

各地の親の会で、つどいを広めてくれました! 世界を拓けていただいた半年でした。子どものことを想って何かしたいと思っている人がこんなにいます!

奈良 (11名)

奈良交流会は35年。今年は初参加もたくさんで、こんなにうれしいことはない。皆さんのエネルギーなものをもらって帰りたいです。コロナ前の人が集まる感じに戻ったようでうれしい。

岡山 / 徳島 / 高知 (計3名)

子どものことで悩んでいる人は多く、岡山でつどいをいっしょにやってみてほしいです。
また和歌山で再会できてうれしいです。

長崎 / 宮崎 (計11名)

新上五島から初参加。紀州と五島の関係性は古来より。新しく生まれた親の会。宮崎では31年目の親の会。記念誌を仕上げました。

新潟 / 富山 / 山梨 / 長野 (計7名)

熊が出て困っている県たちです。
海なし県なのでわざわざ紀伊半島の海を見ながら来ました。分科会でよい話が聞けて参考になった。

大阪 (30名)

2年前の京都・亀岡。コロナを越えて、つどいを繋いでいきたいと思い、今年開催できて、近畿・和歌山メンバーに感謝!

兵庫 (8名)

各地より参加。当事者も! できるだけ苦情・文句を集めて学校へ伝えたいと思います。

岩手 / 宮城 (計3名)

陸前高田出身もいます。
宮城は不登校ワースト1。。
抜け出したい。

埼玉 (11名)

馬場さんは東京出身ですが、埼玉で活動されているので... できることからやっていきたい。がんばります!

東京 (13名)

東京メンバーたくさん! 2人初参加です!

千葉 / 神奈川 (計6名)

子どもの居場所やっています!

愛知 / 三重 (計4名)

10年前、2015年に第20回全国のつどい in 愛知をやった仲間たちです。
各地で親の会もやっています!

京都 (14名)

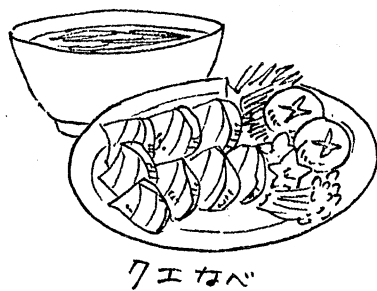
一昨年、第25回全国のつどい in 亀岡を開催しました。一参加者として、大ホール前に行った時にうれしい気持ちになりました。和歌山、近畿のみなさん、お世話になります。ありがとう。明日の分科会もたのしみにしています!

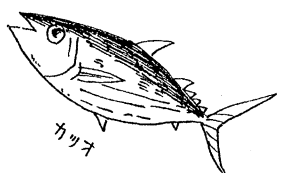
滋賀 (3名)

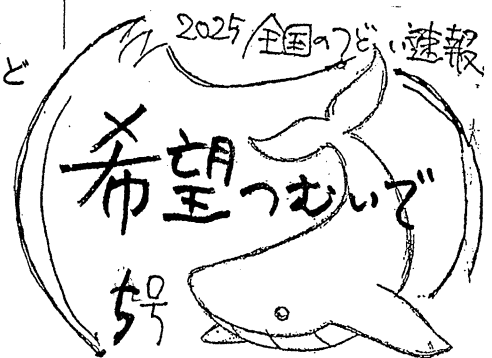
コロナ禍で会えるのがとびとびに。
また会えるのがうれしい!
みなさんの話が聞けてよかったです。

分科会の昨日、そして今日

1日め（昨日）はこんな様子でした		今日はこんなふうに
①小学生A	参加者17名。今、一番悩んでいる親の話を中心に話をした。元当事者の人がいて、思いを共有できた。	それぞれの思いを話せる場所にしたい。
①小学生B	参加者15名。自己紹介。教員の立場から、今の悩みや疑問について、また、親の立場からの思いや発言もあった。	親の悩みや思いを中心に進めていきたい。
②中学生A	参加者18名。全員自己紹介を兼ねて話してもらった。	ひとりひとりの話をじっくり聞いて、学びを深めていきたい。
②中学生B	それぞれの立場から経験や思いを話した。本日のみ参加の方から話をふくらませていった。	保護者の想いを主にしたい。中学校ならではの心配事を話したい。
③高校生	参加者23名。自己紹介後、初めての方、本日のみ参加の方の話を聞いた。留年や退学、その先のことなど、どうするか悩んでいる話が出たが、最後は子どもの気持ちを受け止めるのが大事ということになった。	参加者のお話をじっくり聞かせてもらいたい。



④障がい	参加者16名。今現在、不登校の子どもをもつ親の話を中心に聴き、それぞれの立場から経験を話し、交流が深まった。	初めて参加した方が、たくさん話ができるようにしたい。
⑤学校づくりA	教職員の参加が多かった。親と連絡がつかない悩みや、若い先生の大変さなど、様々なことが語られた。	学校、居場所、保護者からの話を聞いて交流したい。
⑤学校づくりB	様々な立場の色々な年齢の人が参加した。今の学校について、子どもが学校を怖がること、どう学校に理解を求めるかなどについて、交流した。	学校、居場所、保護者からの話を聞いて交流したい。
⑥青年A	家族、当事者、支援者、教員などの立場の方が参加して、意見が活発に出た。親の対応で嬉しかったことを話した当事者の参加者がいた。	昨日と同じような参加者数であれば、引き続き分散会にしたい。
⑥青年B	30代のひきこもりの家族が多かった。就労の話になった。	
⑥青年C	参加者14名。ひきこもり、家族の自立が中心的話題になった。経済的自立、学歴、就労への困難さなどの話題になった。	



⑦ 進路自立 A	ゆっくりと自己紹介をすることから始まる。青年のゆっくり自分を見つめられるようになり、生きている事が楽しくなったという話からより深まっていった。	自己紹介から始めたい。今日参加の方の感想も入れて話していきたい。
⑦ 進路自立 B	自己紹介後、自立とは、待つとは、信じるとは、など体験をもとに考えあうことができた。	ひきつづき、自立について深めあいたい。
⑦ 進路自立 C	世話人以外は1名の参加。普段、世話人の話はなかなかできないため、時間をかけて話すことができた。	初めての方の参加があれば、その方中心に話をしたい。
⑧ 居場所 A	和歌山市内にある不登校生のための居場所「えびとおはぎ」の様子をスライド上映。そこに通う高校生と小学生の母親の話に、参加者から多くの質問。残りの時間はひとりずつ自己紹介。	昨日の話を深めたい。全国で居場所づくりをしている方々の話を聴きたい。どんな居場所なら安心して通えるかななどを話し合いたい。
⑧ 居場所 B	1日参加の人より自己紹介。当事者、親、支援者の方など、それぞれの立場で、悩み等を話し、新たな認識を得られた。	ドキュメンタリー映画「ハートフルハウス創」の上映会。その感想交流やディスカッションを予定。
⑨ 親・家族 A	参加者の立場の垣根をこえて、それぞれの体験をゆっくり聞くことができた。2つのグループに分けたのがよかった。	基礎講座1への参加状況なども踏まえて、臨機応変に進めていきたい。
⑨ 親・家族 B	一人ひとりの話を大切にしながら進めた。ゆったりした雰囲気だった。	一日めと同じように進めたい。



⑩ 手をつなぐ	参加者15名。じっくりと自己紹介で交流。学齢期の子の親たちと、ひきこもり状態の成人の親たちとの気持ちのズレ、世代間ギャップなどの課題が出された。	午前中はミニレポート、午後は親の会運営や地域での連携について交流を続けたい。
⑪ 医療	参加者12名。少人数だったこともあり、たっぷり話ができた。青年の参加もあり、話が盛りあがった。	参加者の人数にもよるが、たとえと聞き合い、語り合いたい。
⑫ 非行	簡単な自己紹介あと、元少年院長の参加者のお話。その後、親が中心にたとえと語る。支援者や教師の参加者もじっくり聞いていた。	「もっと親にぶつけてみてもよかったかな。みなさんの子どもさんの話、うらやましい。」という思いも深めたい。
ひろば	小中学生の参加あり。型抜き大会で盛り上がる。建物の中を探検に行く子どもたちも。みんなで自由に過ごした。	まったり自由に過ごしたい。

落とし物が届いています

大ホールの入口付近に落ちていました
お心あたりの方は本部まで



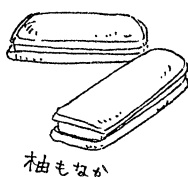
分科会の感想

第6分科会「青年」

<A分散会>

親の人生

当事者のお話がすばらしかったです
親が自分の人生を楽しんでくれて
いるので自分も楽になったと。
涙が出ました (父母, 和歌山)



袖もなか

<B分散会>

胸がはいはい

初めてつどいに参加しました。
分科会で皆さんの話を聞いて、
自分の話しも聞いてもらって、胸が
はいはいです。子どもを信じてまか
せて待つことは難しいという話に
なった。本当に難しいですね。
でも皆さんの話を聞いてちょっと
じが楽になれた気がします
(父母, 和歌山)

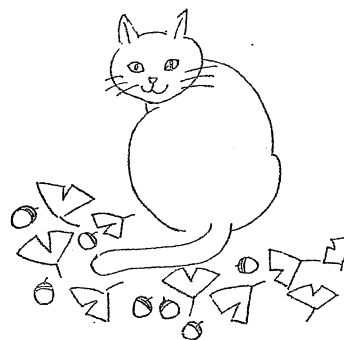
今日の学び

1人1人として尊重する。
親として、いろいろ心配したり、
気を回したりしてしまうけど...
自分で決めていいんだよ。
自分のやりたいことをして
いいんだよ。
という姿勢で見て、ていつ
たいと思います。
(父母, 兵庫)

来てよかった:

安心して話(たいことが言えて
他の参加者の正直な気持ちを
聞いて、来てよかったと思えました)

(元教職員,
京都)



大事なこと

青年期の子どもに寄り添い
見守りながらもやはり、本人達
の大切になっている事、好きな
こと、居心地がよいと思うこと
を大事にしていくことが最も
必要だよと、皆さんの話を
伺いながら思いました
(父母, 宮崎)

子目線

主に就労について... 親目線の
不安などがどの点なのか(でも
お聴きできてよかったです(自分
は子目線なので))

(青年, 東京)

一歩

だれにも何処にも相談することなく
長い長い時間を過ごしてきました
初参加です。
皆さんの話を伺えて、お会いできて
本当に良かったです。
今回参加させて頂いたことで、一歩
踏み出せるかも、と思いました。
(, 長崎)

親の会

いろいろつらい思いを
している人がまわりに居る。
親の会のつながりが、
乗り越える力となった
ことが伝わってきた。
「信じてまかせて待つ」
(,)



1日め 分科会の感想

第7分科会「進路と自立」 〈A分散会〉

親子、互いに「自立」

当事者の方の経験談も聞け、
「世間のものさしに自分をあてはめ
なくなったら気が楽になった」そこに
は家族の人以外との出会いがあつての
こと。親も子も互いに「自立」して生
活していけたら良いな、目指していこう
と思います。(北海道・父母)

集うこと・学ぶこと

集うこと・学ぶことが自分の人生を変え、
豊かにしていることに感動です。
「ねはならない」という規範意識の同
調圧力からどうやって解放されるか←こ
れが肝要 (埼玉・)

嬉しかった……

久しぶりの分科会でかな
り緊張したのですが、話し始
めると何とかなるもので、自
分の思いが素直に言葉になっ
て嬉しかった。やはり、それは
つどい特有の暖かい雰囲気
が導いてくれたような感じ
がする。()



印象的

分科会に参加された方に、不登校
を経験され、当事者だった人、と
自分のことを紹介された方がおら
れました。

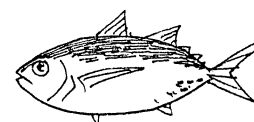
その方の「いいところをとって生
きてたら、くねくねしたか(?)上手
なとりついた」の言葉は印象的
でした。(和歌山・)

〈C分散会〉

安心して出せる

少人数で、ざくばらんと話せることは
とてもよかった。

自分のことを安心して出せるところは
ありがたい。(和歌山・教職員)



クロマゴロ

〈B分散会〉

良い時間だったな

初めて会った立場がさまざまな人たろ
うが話をするというのは面白いことだと思
います。新たな気づきがあったり、人の話
から自分の頭の中でワークしたりと良い時間
だった。(- 父母)

じっくり、あせらずに

当事者の話が、今直接関わっている子ども
たちとの接し方や、保護者との関わりなど
で学ばせていただくことがたくさんありま
した。好きな事、やりたい事が見つけられ
ずに悩んでいる子どもたちとじっくり、あせら
ずに楽しくすごしていきたいと思いました。

(奈良・元教職員)



旧分科会の感想

第8分科会「居場所A」

窓口の広がり

居場所から考える支援のあり方について具体的に知ることができました。様々な声があってよい、ということがわかり安心しました。窓口の広がりが必要と考えます。問題点のつみかさねが大きな声になると思います。

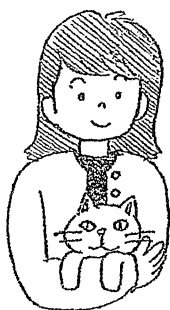
(千葉・その他)



知れてよかった

いろいろな悩みや職業、気持ちと生で聞けて、いつも知れないことを知れてよかったなと感じました。つらいことや難しいことを真剣に考えていて、人に頼ることは何も悪くない、迷惑じゃないんだ、と知れてうれしい気持ちになりました。

(和歌山・)



第8分科会「居場所B」

人が居場所になる

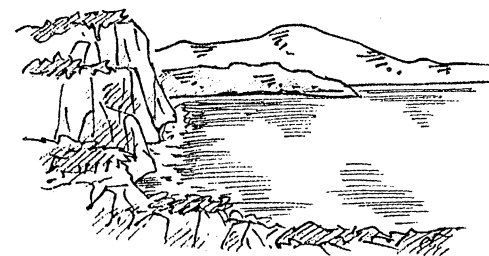
居場所とは、ひとつの場所ではなく、いくつものいろいろな場面の場所がある方が、ひとりひとりの青年の状態や心の持ち方で選べる、というメッセージが心に残りました。居場所は建物でなく、人間との信頼で、その人が居場所になるという話がよくわかった。

(和歌山・父母)

親になれる

参加してみて、親が少ないなと感じましたが、発言を聞いてみると支援のNPOなどの方も多くは不登校の親であったりして、NPO、支援サークルを作ったりするようになったとのエピソードを聞いて、子どもとの関わりによって親が発展しているのには感じさせられました。子どもによって親になれる、親が育っていくのが見てとれた。

(大阪・父母)

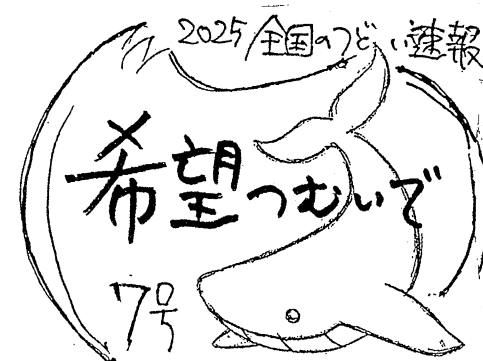


白崎海洋公園

課題といただいた

みなさんの話の中で、居場所の活動や親の会の活動を知らなかったという意見も聞き、どうすれば押しつけでない伝え方ができるのか、課題といただいたと思います。もっと様々な方との交わりを持つような機会を作っていきたいと思いました。

(和歌山・その他)



10月の分科会の感想

第9分科会「親・家族」

私は教師をめざす学生として
親の方から直接お話を
聞きすることができ、私が将来
教師としてやりたいこととやるべ
きことの解像度を高めることが
できたような気がしました。

親の方から出てくる言葉の重み、
子どもの苦しみを実感し...

私自身に何かできることはないか、
話を聞きながら考えました。

学校や教師は無力だな
---と思いながらも、やはり
私はこの課題をあきらめたく
ないと改めて思いました。

現場に出るまでの残りの、
1年半という期間で、より、
子ども理解と保護者理解
に努めたいと思います。
ありがとうございました

(学生、山梨)



梅干し

共感

子どもが自分で決めることが大事。
親はそれを見守ることが大事。
でも、わかっているけど、心配に
なるのが親というもの。
その親への共感が大事だと思
いました

(教職員、和歌山)

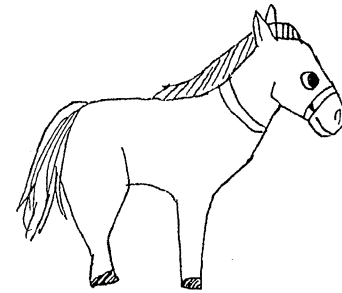
深さ

信じることの意味の深さと
大変さをあらためて受けとめ
ることができました

(父母、山梨)

不登校のお子さんとの
かたこうを越えて不安の中、
力強く生きてこられた方との
お話を聞き、勉強になり、
頭が下がりました。

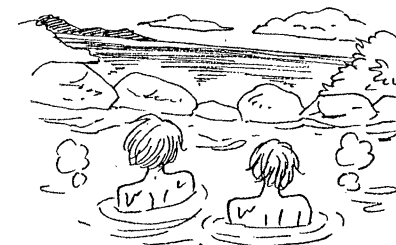
()



良かった

親子だけで接していると
視野が狭くなるので、今回
参加したいと思いました。
自分自身がコミュニケーション
がうまくないと思ってしまし
たが、他の方に聞いてもらえ
て、自分の思いや他の意見を
聞けて本当に良かったです。

(父母、和歌山)



白浜温泉

“スッ”とした

2つのグループに分かれていたが、
よい人数でみなさんの話を聞いて
何を得たと言うよりは、まずは“スッ”
としました。今のままでいいんだと
改めて思えたのもよかったです。

(父母、和歌山)

初参加

私は不登校経験者の成人なので
前は青年期に参加していましたが、
こちらも関心があったので初参加しま
した。いろんな世代の親の方がおら
れて、それぞれの状況の話をお聴
きできて良かったです。

(青年、兵庫)

他府県の方と話せる

他府県の方と身近に話せたことが、
この会に参加して良かったと思いま
した。子どもの本心はわからないことだらけ
ですが、考え続けていく勇気がもらえ
ました。

(父母、大阪)

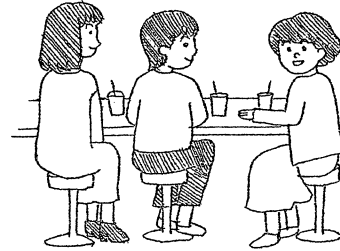
第10分科会「手をつなぐ」

1日め 分科会の感想

第12分科会「非行」

キーワードは「共感」

世代ギャップがあることになやみながらも、それぞれの地域で親の会を大事にやってこられてる方ばかりでした。キーワードは「共感」のような気がします。ギャップがあっても小さなことでも共感できる部分もあると思います。(埼玉・父母)



実感

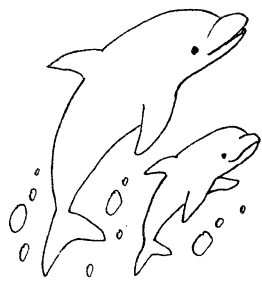
保護者の方の話を聞かせていただき、リアルな様子を知ることができました。見守ることの大変さ、大切さなど改めて実感させてもらいました。教職員としてどんなことができるのか、目の前にいる子どもたちはどんなことを求めているのか、折り合いをつけながらにはなりますが考えていきたいです。(和歌山・教職員)

思いきって

初めて12分科会に参加しました。迷っての参加でした。娘の現状は一進一退。そんなこと話せるかな～と思って。でも聞いてくださる方々のしんけんな思いにふれて話してもいいか…と思いきって話しました。何か、いろいろな角度から考えられそうな気配です。明日が楽しみになりました。(・父母)

初めて参加

⑩「手をつなぐ」分科会に初めて参加しました。親の会の今の悩みが出され、共通する所がたくさんありました。その中で「AIに相談する」人があることは初めて聞きました。アドバイスでなくてただただ聞いてくれるらしいです。若い親の方とのつながりをどのようにすればいいのか、昔のやり方(?)では難しいのですね。(・)



第11分科会「医療」

どう生きるか

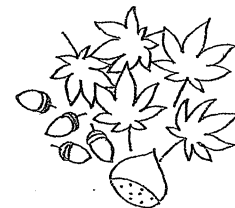
11人参加の小さな分科会になりましたが、病気・障がいをかかえながら、とても深い学びができました。どう生きるか、どう生きているか。(京都・父母)

心が穏やかに

みなさんのお話を聞く中で相談してもらう場ではなく、話の中で心が穏やかになることがたくさんありました。

学びのある語り合い

同じ悩みや課題を抱えていること、工夫して運営されていることなどたくさん学びのある語り合い。明日とても楽しみ。(・父母)



第3分科会「高校生」

分科会の感想

とにかく笑顔で

濃い内容でした

「とにかく笑顔でいてほしい」
我が子が笑顔ですごせると、
親もホッと安心しますよね
(和歌山)

初めて

初めての参加です。

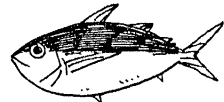
参加者の皆さんのお話を聞いて
「学校(高校)」とは何なのか
考えてみたいと思います
(元教職員、北海道)



みかんソフト



みかんパフェ



Xバチマグロ

第4分科会「障がいがある…」

安心して

初めての参加で、不安たっぷりでしたが、とても温かい場で、
話をきくのも、話すのも、安心して
すごせました。いろんな立場
の方がおられ様々なお話を
聞けてとても勉強になりました。
(父母、和歌山)



キハダマグロ

体験

ユートーブ、見ても見させなくて
おかしくなる、という言葉が、学
びになりました。方法論よりも
体験の話だなーと思いました。
(教職員、奈良)

同じ悩み

皆様の話を聞いて、同じ
悩みを持つ方もいらっしゃる
ことがうれしかった。わかりあえ
た感じがしました。
(父母、和歌山)

対面で

対面で色々な方の話を
聞けるのが本当に大切だ
なと思いました。...

不登校がこれだけ増
えているのだから もっと、
すすんだ社会、学校に
なっていてほしいと願っています
(父母、教職員、北海道)

ふただけじゃない

悩んでいる人はふただけ
じゃない。それを見えただけで
私は幸せだ (父母、和歌山)

親の会にも

大変参考にになりました
広い視野を持ってそうです。
また、親の会にも参加を
させて頂きたいと思います
ようこそ、お願い致します
(父母、和歌山)

第2分科会「中学生」

仲間

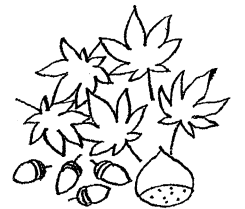
初参加の方が自分の気持ちまで
吐き出している時間がとれたのは、
ほんとうに良かったと思います。
ぜひ、一人づつ抱えついで、仲間を
作ってほしいと思いました。
教員も複数参加(していました)。
不登校問題を真剣に考えている
仲間がいることに心強さを感じ
ました。(北海道)

声を

和歌山の若い中学校の先生が
話した「気づかなくて親は
もっと教員に声を届けるべきだ」
にとても共感した。
(元教職員、宮城)

おわび

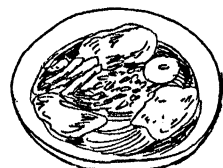
話をきいていて
「その対応はおかしい」
と感じる教師がたくさんいると
わかりました 教師のはしくれとしておわび申し上げます
明日もいろいろな話を聞けたらと..... (教職員、和歌山)



分科会の感想

ひろば*

ひろばに参加した小学2年生が、「ボールがたのしかった」と自分で書いた感想用紙をとどけて、その他のもに（しかり）くれました。（子ども）と書いてありました。



和歌山ラーメン

* ひろばには エルシティオの不登校支援事業である「えびとあはぎ」と、和歌山大学フットボール部の協力をいただいています

全国連絡会からのお知らせとお願い

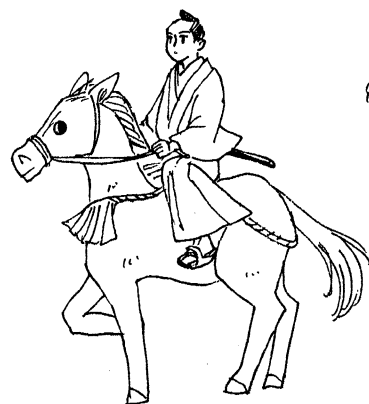
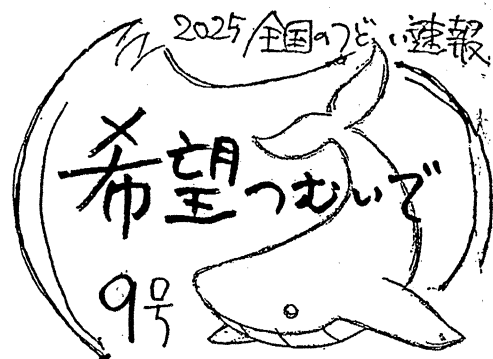
登校拒否・不登校問題全国連絡会は、ひとりぼっちの子どもをなくしたいとの願いから1995年に結成されました。

全国各地の親の会や個人、団体、親どうし、また教職員、専門家と連携して交流しあひ、つながりあひ、学び合うことを中心に活動しています。1996年から各地でつくられる実行委員会と共催で全国のつどいをひらいてきました。

くわしくは参加者封筒に入っている黄緑色のリーフレットをご参照下さい。

どうぞあなたも全国連絡会にご加入ください

申し込みは
受付にて
又はリーフレット
付属の振込
用紙で



徳川吉宗公

和歌山県親の会

のご案内

地図つき版



詳細は
受付でいただいた
A4封筒に入っている
ご案内で（水色、A4）
ごらん下さい

県下各地域に郡市親の会（*、*、*）があり、独自の活動を行っています。学習会、例会などです。

県親の会は郡市親の会の連絡会的な役割をしています。事務局はエルシティオ内にあります。また、「登校拒否不登校問題全国連絡会」に団体加盟しています。

* 那賀親の会

* 和歌山市親の会

◆ シンボールハウス主催親の会

◎ 有田郡市親の会

● 日高郡・御坊市親の会

■ 白土ツリー



生けす井

* エルシティオは和歌山県教職員組合の教育相談活動の流れをくみ、不登校、ひきこもり障害のある方の支援をしてきた法人です。前回、今回のつどいでも力を尽くしています。

第26回登校拒否・不登校問題全国つどいin和歌山が25日、和歌山市で始まり、子どもたちや親、教員・研究者ら約450人が集まりました。実行委員会と「登校拒否・不登校問題全国連絡会」主催。26日まで。

主催者を代表して全国連絡会世話人代表の児玉洋介さんがあいさつ。社会の分断が進んで親も子も孤立し、子どもの気持ちを聞き



講演する馬場さん
25日、和歌山市

取ることも難しいなか、「同じ悩みを抱えた親たちが、悩みを率直に語り合い、共

有し合おう」と話しました。全日本教職員組合教文局長の大島和重さんが連帯のあいさつ。日本薬科大学特任教授の馬場久志さんが講演しました。

馬場さんは、中学校での不登校の増加と教員の精神疾患での休職者数の増加には強い相関があるとし、授業時数の増加など「双方にのしかかる共通の困難がある。不登校は個々の子ども

の特性の問題ではない」と指摘。「理解こそ最大の支援。大切なことは子どもを一人の人として尊重すること」と呼びかけました。

涙を拭きながら講演を聞いていた和歌山県の女性は、中学2年の長女が5月から不登校です。近所の人に悩みを話せず、インターネットでつどいを見つけて参加。「原因をなくせば学校に行けるようになるのでは」と原因探しをしてしまっていた。講演を聞いて原因探しはしなくていいし、あせらなくていいと、子どもと接するヒントがもらえた」と話しました。

講演後、12の分科会などに分かれて交流しました。

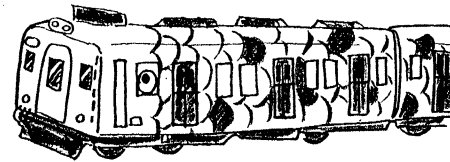
10/26・しんぼ赤旗

不登校の悩み語り共有

和歌山で全国集会「理解は最大の支援」



和歌山城



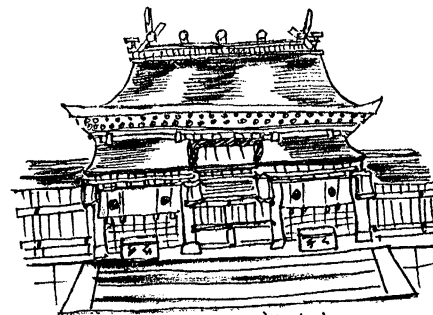
めいたい電車



白崎海洋公園



白浜温泉



熊野本宮大社



高野山 奥之院

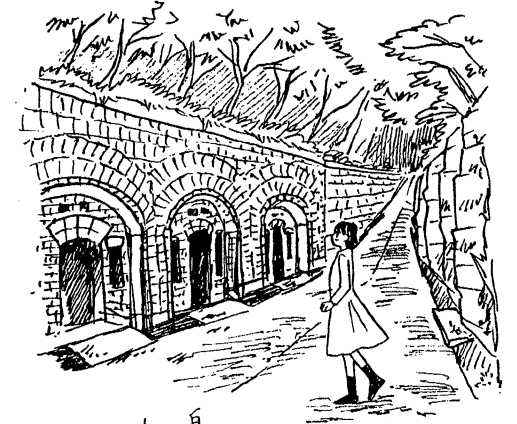
事務局推薦

和歌山 観光

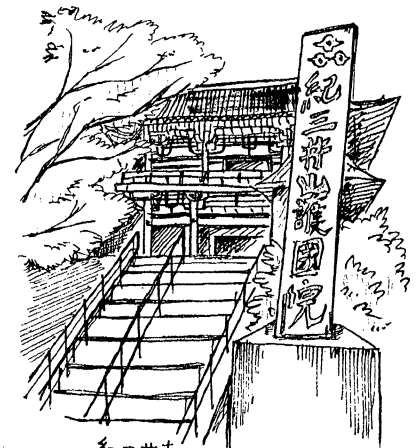
～ ごあんない ～



那智の滝



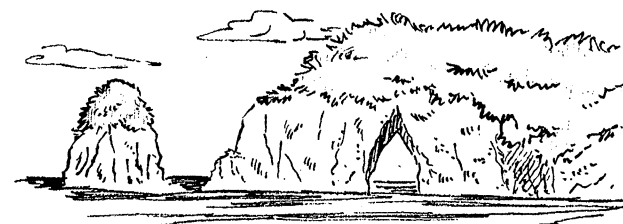
古川島



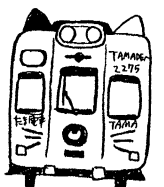
紀三井寺



和歌の浦



紀の松島

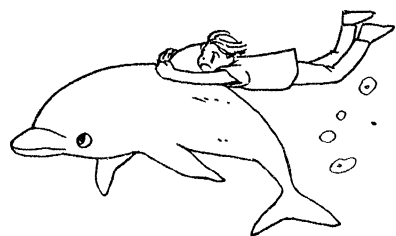


和歌山電鉄
たまご電車

すごく大切なこと!!

不登校がものすごく増えている。
当事者や親のサポートに加えて
地域の人々に理解者を増やして
いくことが大切だと思います。
あれこれ、たくさん、心に留めて
子どもに接していきたいと思います。

(父母・北海道・基礎講座
家庭で)



消極的選択について

親や周りの人がすすめてきたから、子どもが
気を使って、レインボーハウスに来るなどの
行動をするということも もちろんあり得る
話ですが、私自身の体験からは、
子ども自身の中に「ボクはゆたい」と
いう思いがあって、チャンスと掴みたいと
感じているのかもしれないと思いました。

(その他・大阪・Mさん 家庭で)

2025/全国のどい速報

希望つむいで

10号

これから
子どもが安心できる家で
あるようにしたい。

親の会に出会ってから
私だけで 背負いこまな
くなりました。 自分の時間も
大事にするようになりました。

子どもは ゴロゴロ...

これでいいのかな?
他の病院行ったりした方が
いいのかな?
なんて 時々 迷いもでした。

安心できました。

(父母・和歌山・Sさん 家庭で)

「逆ちゃんかな」とならない
ように...

私は職場では「先生」とい
う立場。 家では「母」です。

ついつい自分が理解している
つもりでも、「逆ちゃんかな」と
してしまっていることもあるのでは
... と思いながら、「一緒に
迷えたらな...」と思います。
とても参考に「なりました」。

(教職員・和歌山・Tさん
家庭で)

分科会 感想2日目

あゆから 30年経ったんだなあ

土井さんのお話。エネルギーの Coppo に
溜め方。あゆめる時のお話。
当事者。「トンネルの中」にいるのでは
なく、「暗い森の中」にポツンと
いる。 手をつないで、一緒に出口を
さがす。 そのとおりですね。
世間からの「正気な人」になる。
私も心掛けていました。
今は成長し、私を気遣ってくれる
まじめで優しい息子。
中一から不登校もしていた息子。
あゆから 30年経ったんだなあ
と懐かしい思いを思い出しました。

(父母・千葉・家庭で)

和歌山?

ことばが、やわらかくて、
とてもいいなあ...

“しんどい”
“よう行くかん”

じわっと、スーッと
土井さんの言葉が入って
きました。

(Mさん・埼玉・家庭で)



「信じて任せて待つ」

昨日・今日・2日間
同じ分科会に参加
してきた。 色々な親の
思いをきかせてもらって。
大変な家庭もあるけど。

「信じて、任せて待つ」
「子どものタイミングで」

共通して、どの家庭、親にも
言える。 大事はキーワード
なんだねと、改めて思いました。

(オ9分科会。 愛知)



「先生がちゃん人のはずなのに」

ロボットみたいに同じことをいう」

「みんなと一緒にしなければならぬ」
「フランス軍は2時間しか眠らなかつた
から。 お前たちも勉強がんばれ」
「誰かが叱られているのを見て恐れた」
など...

学校教育をかえていくよう運動を
がんばらなければ... と思いました。

(教職員・Kさん 和歌山 オ9分科会)



分科会 2日目



次に向けて

様々なケースの話が聞けて、考えさせられました。色々考える事で、次に向けてどうしていくか準備ができそうな気がします。

(教職員・和歌山・#12)

子どもは色々なことを考えている

子どもは自分たちが思っている以上に色々なことを考えている。映画をみて考えさせられることがたくさんあった。学校が子どもたちの居場所として過ごしやすい環境になるよう、これから経験したり、勉強したりして頑張りたいと改めて感じた。

(教職員・#8B・Nさん 北海道)

私自身は、直接「引きこもり」支援には関係していませんが当事者の思いを知るという意味で、たいへん良かったです。(元教職員・Iさん・徳島・8B)



海鮮丼

息子の問題とっていましたが、自分の人生を考えているのだからです。()



ワエカハ

支援者や居場所を運営している方がタタかったので、財政面からスタッフの気持ちや子どもとの関わり、一致させる工夫(あるいは違いは違いとして、それで良いのでは、など)をお聞きできて、とても参考になりました。(NPO・Bさん 和歌山 8A)

何もしないことをする

ミニレポートを聞きながら居場所のスタッフは、「何もしないことをする」という言葉にハッとして、「何もしないことをする」それは本当にむづかしい。それをわかってもらうことも、説明することもむづかしい。

(父母・Hさん 三重・親の会 #10分科会)

たくさんの家族の悩みに つながる悩み

大学受験と控えたお子さんを持つお母さんの悩みや本人の苦勞を聞かせて頂いた。

(父母・Nさん 京都・#11分科会)

すごいめぐり合わせ

岩手α Sさんが震災のときのお話をこんなにされるとは思わなかった。すごいめぐり合わせだと思ったのですが、世話人のHさんから、長年参加して来られた中で、初めて話されたことだったとお聞きし、いっそうその場に居合わせたことに感謝しました。

今ここに居るということの意味をあらためて考えさせられるお話。シチュエーションでした。(父母・東京・Oさん #10分科会)



和歌の浦

「少人数のグループで、手元のように入っているいいのかなと思いましたが皆さん同じような痛みをもってあらわさる方ばかりで、温かいお言葉にたくさんいただきました。... (略) ... あきらめなさい、あきらめなさい。(ありのままでいいと思う)

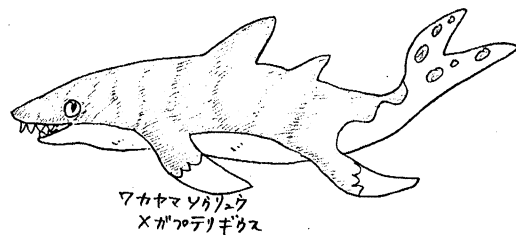
(和歌山・Kさん #11分科会)

人間らしく生きる

マイペースの映画とみせてもらった。居場所としては、最高の古民家で、単なる就労支援ではなく、人間らしく生きるための支援活動だと思った。個人的には、地域との結びつきも努力しているのにも感動した。

(その他・Nさん 長崎・#8B)

分科会 感想 2日目



聞いてもらえる

昨日と今日の午前中、久しぶりに小学校の分科会に参加しました。みなさんがウンウンとうなずきながら話を聞いてもらえるふんいきに力ももらいました。息子が不登校になったことで私の居場所を見つけられました。感謝しかありません。

(①; 父母・兵庫)

貴重な体験

カウンセラーさんではなく、他の保護者の方の実体験をお聞きしたのが初めてだったので貴重な体験でした。

(②・父母・和歌山)

4時間かけて

いろいろな立場の方のお話を聞いたので昨日から4時間以上車を運転してきてよかったなと感じました。

また、明日からがんばれそうです。(②・父母・愛知)

とっもしんどいけど

「信じてまかせて待つ」の言葉の深さ。待つことのつらさを感じました。「信じて待つ」って親にはとっもしんどい。だからこそ一人で悩まないでほしいと思います。→親の会が大切だと思いました。

(⑥・父母・北海道)

あわない服

子どもが学校でのしんどさを「あわない服を着せられている感じ」と言ったという。学校で子どもが管理されている。「私のことを私抜きで決めないで!」が大切にされてほしい。

(7A・ .)

自立

当事者のお話(体験)や、相談員をされている方の事例のお話は、自立についてとても多くのことを考えさせられ教えられた。

(7B・元教職員・新潟)

ひとりじゃない

昨日は別の分科会に参加したので不安ありましたが、「来て、足をふみ入れてよかったあー」です。いくつも自分が楽になる言葉が聞けました。そして、今のままでいいんだとも思いました。やっぱりひとりじゃないと思えるってスゴいですね。

(7C・父母・和歌山)



こんなに たくさんいる

昨日に続き2回めの参加です。不登校の子どもたちのことをこんなに真げんにむきあっている大人がたくさんいるんだな、と思いました。

(②・ .)

話が止まりません

この分科会に出席するのに少ししんどいがありました。でもいろんな立場の方の話しに得るものが多く、自分の時は話が止まりませんでした。何より、いろんな方がいて、いろんな方法があることを学び、元気になりました。

(④・父母・大阪)



希望つむいで

原詞 大坂のおおきく
詩 村上清子
曲 村上雅人・清子



編集後記

和歌山の
つどい・近畿
とくみまいた。
あつたかーい
つどいでした♡

たくさんの方
リレー式に
協力して下さり
紙面がでました。
感謝!!

和歌山で
全国のつどい
や、ちねーの
みよも

和歌山で
つどい♡
みんなの思いを
つなげよう
つどいでした♡

今回も参加でき
ホッしました。
次回も元気で
来よう!!

鈴木

講演今回は
しっかり聞けました
逆報の部屋に
こもりきりに
なりました♡

充実した
2日間
でした!
S.K.

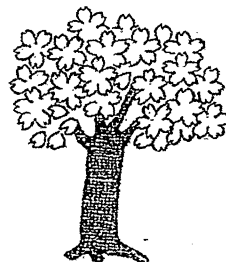
初上陸・和歌山!
景色が雄大♡
すぎて カット描く
のが...楽しかった♡

パンダくしおん
笑った!!
Z

またいつか
おい
しましゅう
ん♡

和歌山のみなさん
近畿のみなさんの
底力を感じて、
圧倒されたつど
いでした! ⑤

おつかれさま!
気をつけて
お帰り下さい♡



1. 希望つむいで ずっと悲しかった
つぼみと 川に ぶくさんで 夢が 今も 消えてく
うれかう 制服姿 川の中 けとばした
 2. 生きろさん 川に 生きた 命が 川に
胸をえぐる あなたの 心と けとば 生きてく
生きてく いてくれたら 川が 笑顔に 泣いてく
 3. 思慕つむいで 家中 とくも いてく
あなたは いて 本当の 心 ずっと 続けた
その 心は 川に ずっと 何度 何度 涙を流す
- ref 弱虫でも 泣き虫でも このままの 私でいい
花のように 草のように 川に 生きてく
ゆれる川 だまされて あなたと 生きてく